

【第40回日本認知症学会学術集会】 変更のお知らせ

日程変更のお知らせ

プログラム ページ	セッション名 セッションテーマ	変更前	変更後 赤色：変更箇所
p.23	SL1 特別講演1 「Role of APOE in amyloid-β and tau mediated neurodegeneration」 演者：David M. Holtzman (Department of Neurology, Washington University in St. Louis, USA)	11月26日（金）10:00～11:00 第1会場 4階 ホールC	11月27日（土）10:00～11:00 第1会場 4階 ホールC
p.24	SL5 特別講演5 「An update on trials of disease-modifying drugs for AD」 演者Paul S. Aisen (University of Southern California Alzheimer's Therapeutic Research Institute (USC ATRI) , San Diego, CA, USA)	11月27日（土）10:00～11:00 第1会場 4階 ホールC	11月26日（金）10:00～11:00 第1会場 4階 ホールC

会場変更のお知らせ

プログラム ページ	セッション名	変更前	変更後 赤色：変更箇所
—	会員総会・授賞式	11月27日（土）16:50～17:50 第2会場 7階 ホールD7	11月27日（土）16:50～17:50 第1会場 4階 ホールC

座長・演者変更のお知らせ

プログラム ページ	セッション名 セッションテーマ	変更前	変更後
p.23	SL1 特別講演1 「Role of APOE in amyloid-β and tau mediated neurodegeneration」	座長 富田 泰輔 (東京大学大学院薬学系研究科機能病態学教室)	座長 山田 薫 (東京大学大学院医学系研究科神経病理学分野)
p.29	シンポジウム7 「認知症CPC」	座長 齊藤 祐子 (東京都健康長寿医療センター研究所神経病理 (高齢者ブレインバンク))	座長 村山 繁雄 (東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンク)
p.29	S7-1 シンポジウム7 「認知症CPC」	病理 齊藤 祐子 (東京都健康長寿医療センター研究所神経病理 (高齢者ブレインバンク))	病理 松原 知康 (東京都健康長寿医療センター 高齢者バイオリソースセ ンター・神経病理)
p.31	S15-1 シンポジウム15 「疾患修飾薬のグローバル開発状況」	演者 Geoffrey A. Kerchner (F. Hoffmann-La Roche, Ltd., Basel, Switzerland)	演者 Luka Kulic (Roche Innovation Center Basel, Pharmaceutical Sciences - Clinical Pharmacology)

発表者変更のお知らせ

プログラム ページ	演題名	演題 番号	変更前	変更後
P64	グリアインスリンシグナルを介した認知機能障害発症機 序の解明	P298	田中 明子 (国立長寿医療研究センター 統合神経科学研究 部)	田口 明子 (国立長寿医療研究センター 統合神経科学研究部)

共著者変更のお知らせ

抄録ページ	演題名	演題 番号	変更前	変更後
P147	日本語版Social Functioning In Dementiaを用いた COVID-19流行下の認知症社会機能評価	P159	橋本 学 (大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室)	橋本 衛 (大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室)

セッションテーマ変更のお知らせ

プログラム ページ	セッション名 セッションテーマ	演題 番号	変更前	変更後 赤色：変更箇所
P.40	ランチョンセミナー12 認知症診療における漢方薬の位置づけと可能性— BPSD およびREM睡眠行動異常性を中心に—		認知症診療における漢方薬の位置づけと可能性— BPSD およびREM睡眠行動異常性を中心に—	認知症診療における漢方薬の位置づけと可能性— BPSD およびREM睡眠行動異常性 を を中心に—

一般演題お取下げ

プログラム ページ	セッション名 セッションテーマ	演題 番号	演題名	筆頭演者
P51	ポスター発表 「臨床系：アルツハイマー病（病理）」	P054	アルツハイマー病のBiological subtype と脳白質 病変の関連	中嶋 恒男 先生 (大阪大学大学院医学系研究科老年・総合内科学)
P54	ポスター発表 「臨床系：その他の変性疾患（臨床症候、画像、病理、 病態）」	P113	意味性認知症の臨床症候および神経画像変化から みた病態進展機序の検討	河上 緒 先生 (東京都医学総合研究所認知症プロジェクト)
P57	ポスター発表 「臨床系：認知症全般（治療、予防、治験）」	P166	急性期病院での園芸療法は認知症患者の意欲 (Vitality Index) を改善する	吉井 康裕 先生 (日本鋼管病院神経内科)